

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	京都中部総合医療センター看護専門学校
設置者名	国民健康保険南丹病院組合

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
専門課程	看護学科	夜・通信	31 単位	9 単位	
		夜・通信			
		夜・通信			
		夜・通信			
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

学習の手引き（シラバス）を入学時配布。希望者には教務室で冊子閲覧可能

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-②【(2)-②外部の意見を反映することができる組織への外部人材の複数配置】

※ 様式第2号の2-①に掲げる法人以外の設置者（公益財団法人、公益社団法人、医療法人、社会福祉法人、独立行政法人、個人等）は、この様式を用いること。

学校名	京都中部総合医療センター看護専門学校
設置者名	国民健康保険南丹病院組合

1. 大学等の教育について外部人材の意見を反映することができる組織

名称	京都中部総合医療センター運営会議
役割	学校運営会議等で決定した事項のうち、入学試験に関すること、授業料等に関すること、職員人事に関すること、その他学校運営で検討が必要な事項について京都中部総合医療センター運営会議に諮り、意見を反映させる。

2. 外部人材である構成員の一覧表

前職又は現職	任期	備考（学校と関連する経歴等）
京都中部総合医療センター副院長 2名	1年	母体病院副院長 学校講師
京都中部総合医療センター看護部長	1年	母体病院看護部長 学校講師
京都中部総合医療センター事務局次長兼総務課長	1年	母体病院事務局次長兼総務課長
(備考)		

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	京都中部総合医療センター看護専門学校
設置者名	国民健康保険南丹病院組合

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)	
【授業計画書(シラバス)の作成】	
<ul style="list-style-type: none"> ・カリキュラムの進捗状況について教務会議 2 回/月にて確認している。他科目との進捗状況とも合わせ内容や方法について検討を行っている。 ・今年度の学習アンケートや成績をもとに担当講師やシラバス内容を検討し各担当講師に講義を依頼し 1 月末までにシラバスを作成する。 ・全科目のシラバスを整理し担当教員の講義担当時間を調整し「学習の手引き」をまとめる。 ・シラバスには科目の実施時期、単位数および時間数、担当講師名、科目目標、講義回数ごとの講義内容、受講上の注意と評価の方法、使用教科書を記載している。 ・作成された「学習の手引き」は生徒、担当講師、教職員に配布する。必要時は実習指導者にも配布。希望者には閲覧を許可している。 ・実習要項は教育理念・目的・目標 臨地実習の意義、目的・目標・実習構成 臨地実習における留意事項、安全対策、学習活動、実習関連資料を記載している。 	
授業計画書の公表方法	学生、教職員に配布するほか、希望者は閲覧可能
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)	
<ul style="list-style-type: none"> ・当該科目の所定時間の 3 分の 2 以上の出席をしていること。 ・筆記試験・口述試験・レポート試験・実技試験などにより評価。 ・科目評価は優 (100～80 点)・良 (80 点未満～70 点以内)・可 (70 点未満～60 点以内)・不可 (60 点未満) の 4 段階とし、優・良・可を合格とする。 ・単位認定会議、卒業認定会議を行い、単位認定をする。 	

<p>3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各科目の所定の3分の2以上の出席をしている学生に対して評価を行う。 <p>評価基準</p> <p>優 (100～80点)</p> <p>良 (80点未満～70点以内)</p> <p>可 (70点未満～60点以内)</p> <p>不可 (60点未満)</p> <p>年度末に保護者あてに成績通知書を送付している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・未履修の単位については翌年以降に再履修することができる。 	
客観的な指標の算出方法の公表方法	学生、教員に配布するほか、希望者は閲覧可能
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・所定の修業年限在学し、学則第22条に定める所定の単位修得の認定を受けた者について卒業認定会議に諮り、学校長が認定を行う。 ・欠席日数が出席すべき日数の3分の1を超えた者は、卒業は認められない。 ・卒業を認定された学生に対し、卒業証書を授与し、併せて専門士（医療専門課程）の称号を付与する。 	
卒業の認定に関する方針の公表方法	学生便覧に掲載し、毎年度学生、教員に配布する。希望者は閲覧可能とする。

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	京都中部総合医療センター看護専門学校
設置者名	国民健康保険南丹病院組合

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.kyoto-chubumedc.or.jp/about/about/
収支計算書又は損益計算書	https://www.kyoto-chubumedc.or.jp/about/about/
財産目録	
事業報告書	https://www.kyoto-chubumedc.or.jp/about/about/
監事による監査報告（書）	https://www.kyoto-chubumedc.or.jp/about/about/

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		専門課程	看護学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3 年	昼	3,090/102 単位時間/単位	1937 単位 時間/79 単位	178 単位 時間/単 位	975 単位 時間/23 単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120 人		117 人	0 人	12 人	104 人	人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 厚生労働省指定規則に従い、教育課程を設定。定期的カリキュラム会議、運営会議を行い、内容・方法等を検討している。実習は母体病院との指導者会議により内容・方法等の共有を行っている。
成績評価の基準・方法
（概要） ・各科目3分の2以上の出席を必要とする。 ・講義は学科試験（レポート試験含む）により、臨地実習は実習評価表により行う。 ・各科目「優・良・可」は合格とし、「不可」は不合格とする。 ・年度末に単位認定会議を行い、履修認定する。
卒業・進級の認定基準

<p>(概要)</p> <p>【卒業】出席すべき日数の3分の2以上ある者で履修単位 102 単位を履修した者に卒業を認める。卒業認定会議にて学科及び実習の評価、出席状況等を総合的に判断し認定する。</p> <p>【進級】各学年の所定の単位数を概ね履修した者に進級を認める。ただし3年次進級時には1. 2年次のすべての実習単位を修得していること。</p>
<p>学修支援等</p> <p>(概要) 各学年担任制とし、複数人で担当している。保護者を含めた3者面談も実施しており、学修面及び生活面でのサポートを連携して行っている。</p> <p>毎日の朝学習においては、1年次から国家試験問題を解くなど知識の蓄積を行っている。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
26人 (100%)	0人 (0%)	23人 (88%)	3人 (12%)
(主な就職、業界等) 京都中部総合医療センター、病院			
(就職指導内容) 就職ガイダンスを実施する他、面談を通して個別に就職相談を行っている。 3年次に小論文対策講座を実施している。			
(主な学修成果 (資格・検定等)) 看護師国家試験受験資格			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
119人	7人	5.8%
(中途退学の主な理由) 学力不振		
(中退防止・中退者支援のための取組) 保護者を含めた3者面談を行い、家庭との連携を図っている。		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
看護学科	200,000 円	300,000 円	850,000 円	教育活動費 150,000 円(毎年) 施設整備費 100,000 円(入学時) 教材費 (iPad 等) 100,000 円(入学時) 教科書代(1年次)約 150,000 円 教科書代(2年次)約 50,000 円
	円	円	円	
	円	円	円	
	円	円	円	
修学支援 (任意記載事項)				
京都中部総合医療センター修学資金、京都府修学資金、日本学生支援機構奨学金				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://kyoto-chubukango.ac.jp		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) 学校関係者及び学校外関係者の評価を実施する。結果をフィードバックしよりよい学校運営に寄与する。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
南丹市八木町南地区大堰塾	1年 令和7年3月まで	南地区大堰塾代表
南丹市社会福祉協議会	1年 令和7年3月まで	理事・事務局長
京都中部総合医療センター	1年 令和7年3月まで	看護部長
吉村建設工業株式会社	1年 令和7年3月まで	常務取締役、 外部講師 (社会学)
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://kyoto-chubukango.ac.jp		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)

ホームページ及び学校案内に掲載

URL : <https://kyoto-chubukango.ac.jp>

学校案内：ホームページより資料請求にて入手可能